

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

- 1 種目 音楽科
2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴														
教育芸術社 小学生のおんがく 小学生の音楽	<p>(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材においては、知覚・感受したことを言葉で書き込める欄があり、自己のイメージや感情を視覚化できるようになっている。 表現したり、鑑賞したりする多くの曲について、それらを創作した著作者の創造性を尊重する意識を持てるように、著作権についてのページがある。 音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて、音楽と関わることができるよう、指導のねらいに即した体を動かす活動が取り入れられている。 題材構成の中でその楽曲で学ぶべき内容（学び方）がひと目で分かる。 考える・見つける・歌う・演奏する・つくる、のマークで統一し、評価との関係が分かりやすくなっている。 <p>(2) 実践的・体験的な学習を行うよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童相互の言語活動が充実するように、学習の達成に向けて考えてほしい内容や、発言の例を吹き出しで示してあり、児童の気づきや思考の手助けとなっている。 音楽作りでは、身近な言葉や挨拶を用いたりリズムアンサンブルを作ることで、拍・反復・変化・コール&レスポンスなど、楽しみながら行うことができる。 <p>(3) 「A 表現」と「B 鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項や本題材で学んだことを生かしながら、学習が進められるように、教科書の書き込みページやそれに対応したデジタルコンテンツがあり、自主的に学習できるように構成されている。 「A 表現」と「B 鑑賞」を関連付けた構成になっている。 <p>(4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連づけやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末資料で今まで学んできた記号や用語の確認ができ、学びの振り返りができる。 児童の体の動き、楽器演奏、歌詞の内容等が、イラストや写真で掲載されている。書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。 我が国に伝わる風趣や風景を紹介する写真やイラスト、文章が掲載されている。 全学年にデジタルコンテンツつながる二次元コードが掲載されて音声や映像に加えて、学習シートも示されており各自で記入して確かめられ、ICTを活用した学習が可能になっている。 <p style="text-align: center;">■ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	30	34	34	36	35	32	201
1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計									
30	34	34	36	35	32	201									

(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・音や音楽だけでなく、言葉でコミュニケーションを図り音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができるよう、巻末に音楽を表す色々な言葉が載せてある。
- ・表現したり、鑑賞したりする多くの曲について、それらを創作した著作者の創造性を尊重する意識を持てるように、著作権についてのページがある。
- ・全学年において、我が国や郷土の音楽や諸外国の音楽が示され、それらの良さを味わえる学び方を示している。
- ・音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて、音楽と関わることができるよう、指導のねらいに即した体を動かす活動が取り入れられている。
- ・他者と協働しながら音楽表現を生み出すことのできる活動内容が盛り込まれている。
- ・各楽曲に学ぶべき内容が書かれている。
- ・色別になっていて、題材のまとまりが分かりやすい。

(2) 実践的・体験的な学習を行うよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・歌唱指導において声の響きや強弱などの表現を、よびかけの「ヤッホー」を使って体験的な指導をすることができる。
- ・音楽づくりでは、身近なチャイムの音型を使って動機を作ったり、リズムに言葉を当てはめて作ったりする体験的な学習を行うことができる。

(3) 「A 表現」と「B 鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

- ・1つの題材に、2・3曲の教材配列のためコンパクトにまとまっている。
- ・学び方の例が「まなびマーク」で示されており、考える手立てとして有効である。

(4) 音楽の記号及び用語、図や写真、挿絵等が適切であり、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連づけやすいよう配慮されているか。

- ・学習活動の見通しをもたせるキャラクターの言葉が示されている。
- ・全学年にデジタルコンテンツにつながる二次元コードが掲載されており、ICTを活用した学習が可能になっている。

■ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
14	17	24	22	22	16	115